

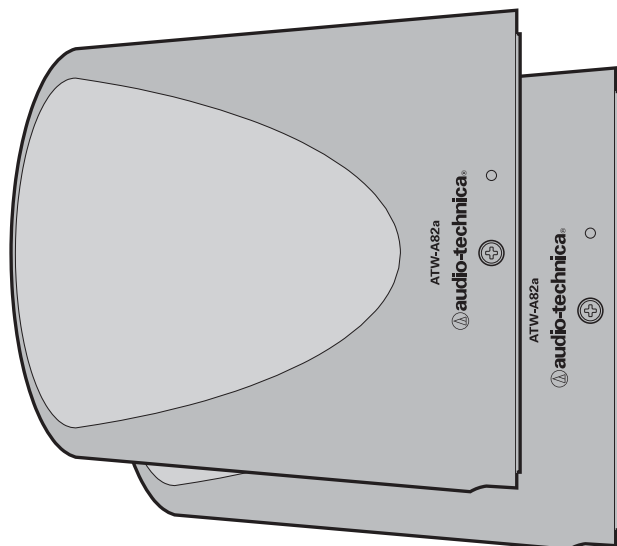
取扱説明書



800MHz帯AB型

アクティブインテリアアンテナ (2個1組)

ATW-A82a



お買い上げありがとうございます。
お使いになるまえにこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保存しておいてください。

本機は壁面に取り付けて、微弱な電波をより効果的にキャッチするブースター内蔵型の屋内用アンテナです。
組み合わせられるレシーバーの取扱説明書も必ずお読みになってご使用ください。

目次

⚠ 取り付け上の注意	2	BNCコネクターの加工	6
ケーブルの選択及びゲインの切り換え	2	接続方法1 (AEW-R5200)	6
各部の名称	3	接続方法2 (ATW-R92)	7
アンテナ設置前の準備	3	接続方法3 (カスケード接続)	7
ケーブルの端末処理	3	テクニカルデータ	裏表紙
設置のしかた	4		

特長

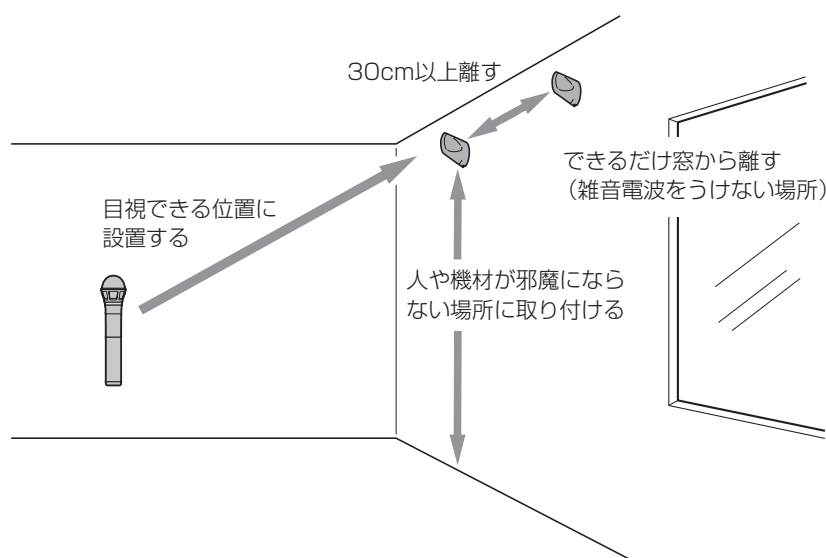
- ブースターアンプ内蔵。同軸ケーブルの引き回しによる挿入損失を改善。
- 使用条件に合わせブースターゲイン (Hi、Lo) を切り換え可能。
- 結婚式場、宴会場、会議場などのインテリアに調和したデザイン。

注意

- ・ アンテナは2個1組としてご使用ください。
- ・ アンテナとコードの接続は、受信状態が悪くなったり、外来ノイズの影響を受けないように確実に行ってください。
- ・ 本機を動作させるには電源が必要です。専用のレシーバーと組み合わせてください。

⚠️ 取り付け上の注意

- 取り付け場所の強度不足、取り付けかたの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。
- アンテナは2個1組とし、ワイヤレスマイクの使用位置から直接目視できる場所に取り付けてください。内装材の裏側などには取り付けしないでください。
- 人や機材の移動時にアンテナが破損しない場所に取り付けてください。
- 自動車、照明用調光器、蛍光灯、大型モーター、コンピューターなどのOA機器やデジタル回路を使用した電子楽器は雑音電波を発生する場合がありますので、それらの機器から影響を受けないような場所に取り付けてください。
- ダイバーシティ受信の効果が充分発揮できるように2本のアンテナの間隔を30cm以上離して取り付けてください。



ケーブルの選択及びゲインの切り換え

接続ケーブルの選択

アンテナとレシーバーとの接続には50Ω、3D-2V以上の同軸ケーブルをご使用ください。ケーブルの長さに応じ、右記の表を目安にケーブルの種類を選択してください。

※低損失形5D-FBの使用をおすすめします。

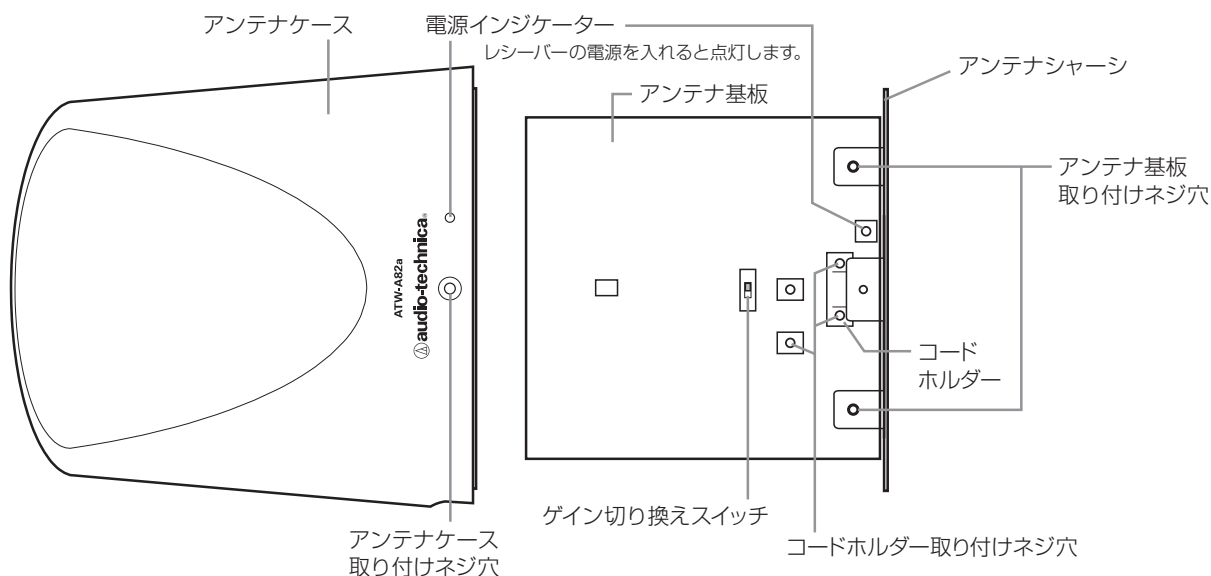
なお低損失形ケーブルには専用のBNCコネクタが必要です。

ブースターゲイン切り換えスイッチの設定

下記の表を目安として適正なゲインを選択してください。

GAIN ADJUST	3D-2V	5D-FB
Hi (+10dB)	ケーブル長 6~15m	ケーブル長 19~50m
Lo (+4dB)	ケーブル長 6m未満	ケーブル長 19m未満

各部の名称



アンテナ設置前の準備

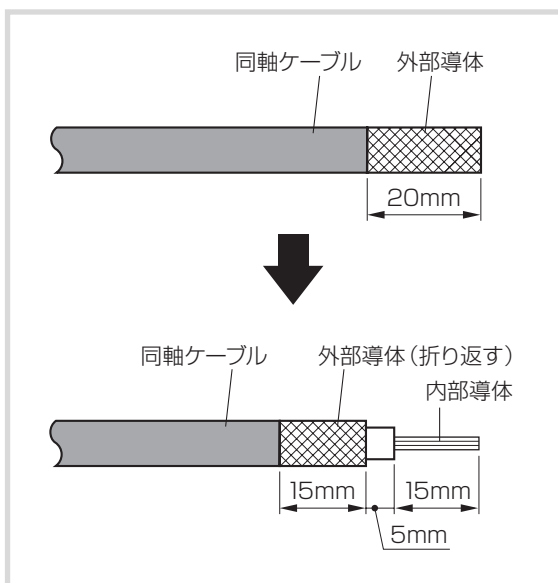
- 1 アンテナケースの取り付けネジをゆるめ、アンテナケースを取り外します。
- 2 アンテナ基板、コードホルダーの取り付けネジをゆるめ、分解します。

ご注意

故障の原因となりますのでアンテナ基板の必要な部分（コードホルダー、ゲイン切り換えスイッチ）以外に手を触れないでください。

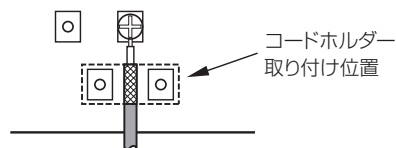
ケーブルの端末処理

- 1 同軸ケーブルの端末を次のように加工します。接触不良を防止するため正確に加工してください。

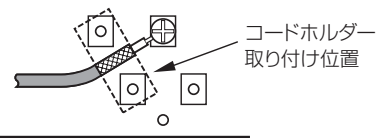


- 2 次のようにアンテナ基板に接続します。

A: 電気ボックスを使うとき



B: 壁面を使うとき

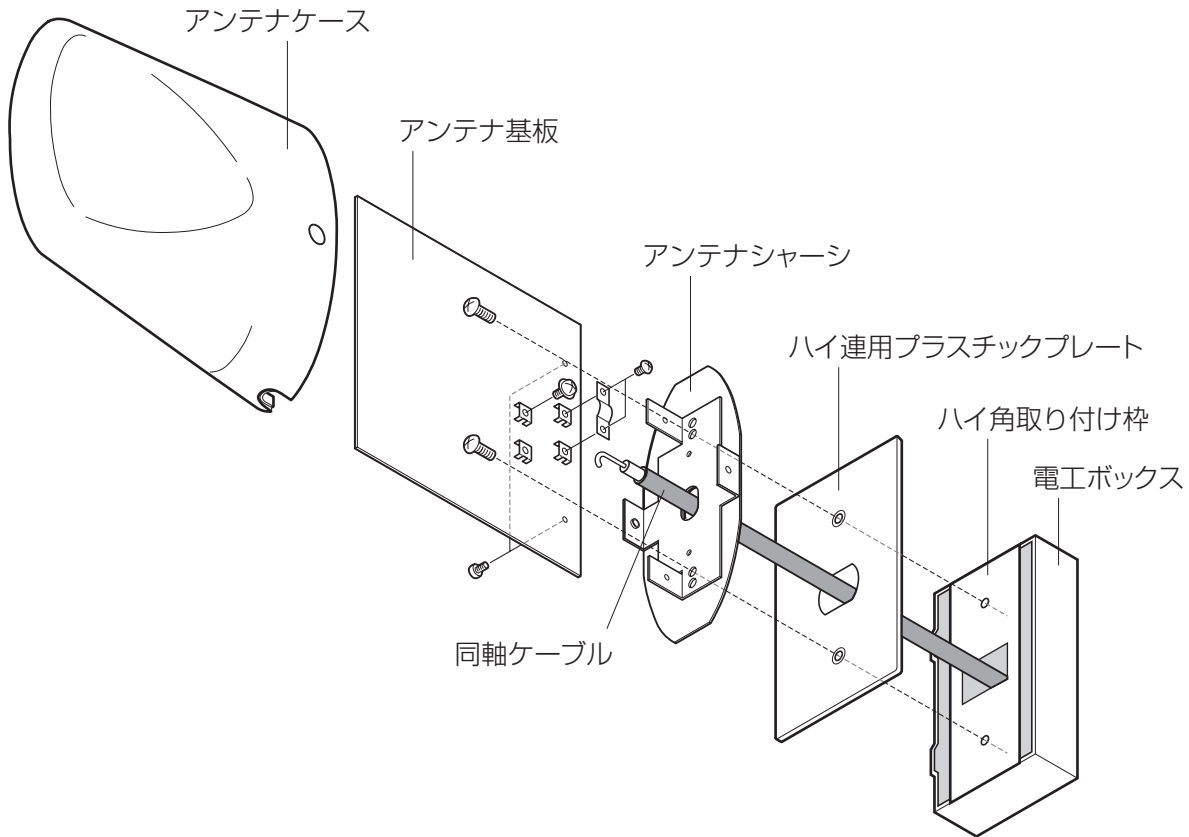


同軸ケーブルの内部導体をネジでおさえ、コードホルダーが外部導体をしっかりとさむように固定させます。

- 3 レシーバーの電源を入れ、本機の電源インジケータが点灯することを確認します。ゲイン切り換えスイッチがHiの時は赤、Loの時は緑が点灯します。

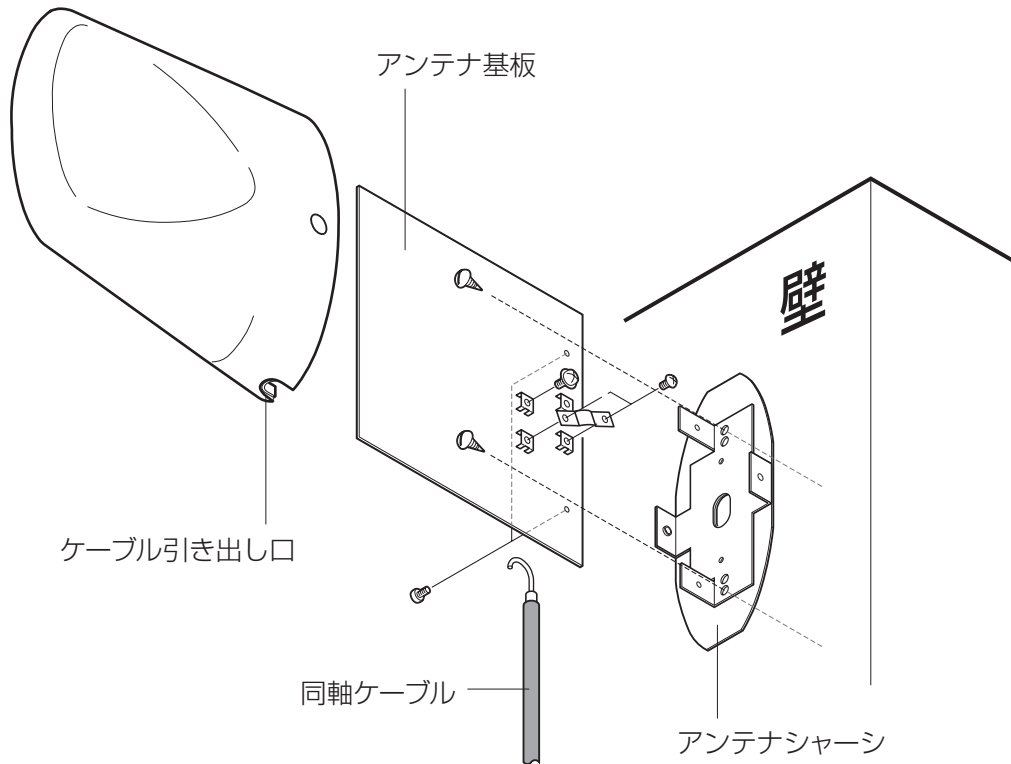
設置のしかた

電工ボックスを利用して壁に取り付ける場合



- 1 アンテナをP.3の「アンテナ設置前の準備」に従い分解します。
- 2 同軸ケーブル先端をP.3の「ケーブルの端末処理 1」のように加工します。
- 3 余分なケーブルを電工ボックスの中に収納します。このときアンテナシャーシ取り付け面からケーブル先端の距離が約40mmになるようにしておいてください。
- 4 同軸ケーブルを市販のハイ角取り付け枠、ハイ連用プラスチックプレート、アンテナシャーシに通し、それぞれを電工ボックスにネジ止めします。ハイ連用プラスチックプレート、アンテナシャーシの取り付けには付属のM3.5ネジをご利用ください。
- 5 アンテナ基板をアンテナシャーシに取り付け、同軸ケーブル先端をP.3の「ケーブルの端末処理 2・A」の位置にしっかり固定してください。
- 6 P.2の「ブースターゲイン切り換えスイッチの設定」を参考にして、ゲインを切り換えます。
- 7 アンテナケースをアンテナシャーシにはめ込み、アンテナケース取り付けネジで締めつけます。

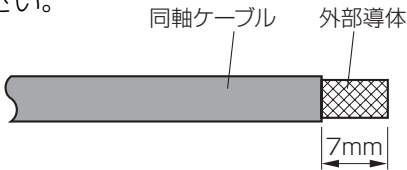
壁にケーブルを沿わせて取り付ける場合



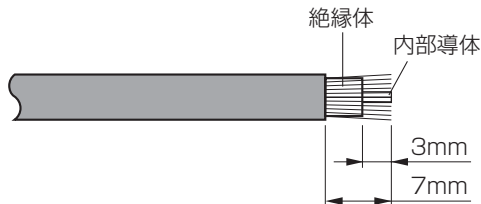
- 1 アンテナをP.3の「アンテナ設置前の準備」に従い分解します。
- 2 同軸ケーブル先端をP.3の「ケーブルの端末処理 1」のように加工します。
- 3 アンテナシャーシを付属の木ネジで壁に取り付けます。
- 4 アンテナ基板をアンテナシャーシに取り付け、同軸ケーブル先端をP.3の「ケーブルの端末処理 2・B」の位置にしっかり固定してください。
- 5 P.2の「ブースターゲイン切り換えスイッチの設定」を参考にして、ゲインを切り換えます。
- 6 アンテナケースをアンテナシャーシにはめ込み、アンテナケース取り付けネジで締めつけます。

BNCコネクターの加工

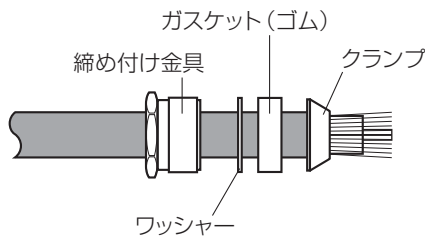
- 1** 同軸ケーブルの先端を次のように加工します。接触不良を防止するため正確に加工してください。



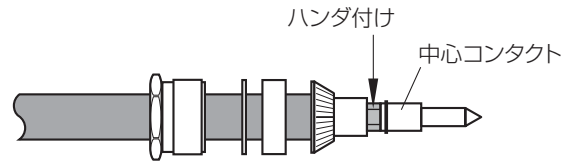
- 2** 同軸ケーブルの外部導体編組をほどき、絶縁体を先端から3mm切りとります。



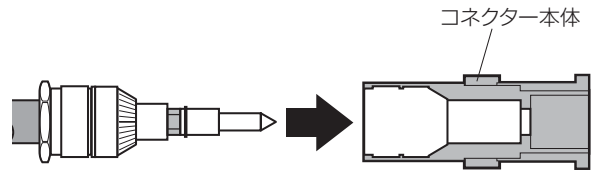
- 3** 締め付け金具、ワッシャー、ガスケット、クランプの順に同軸ケーブルに通します。



- 4** 外部導体編組を次のようにクランプの方へ均等におり返して、先端を切りそろえ内部導体を中心コンタクトに差し込み、ハンダ付けをします。このとき、絶縁体のポリエチレンを变形させないように注意してください。

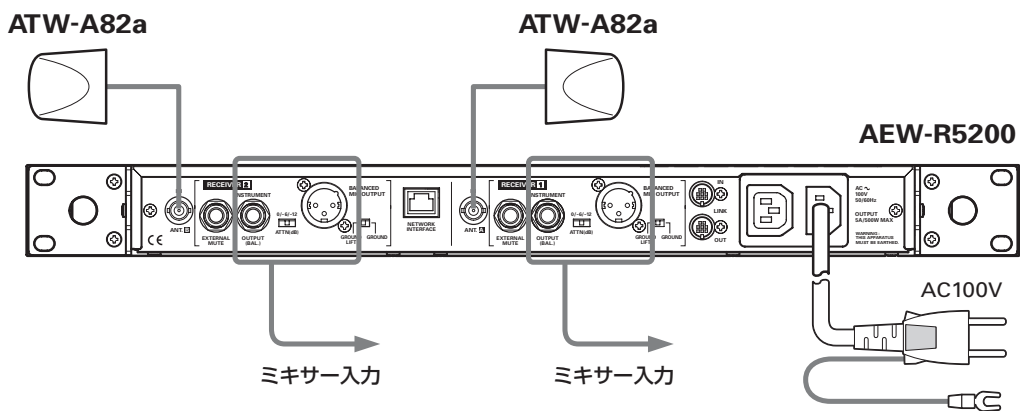


- 5** 4まで加工がすんだら、次のようにコネクタ一本体に差し込みます。その時、中心コンタクトとコネクタ本体に隙間があったり、くい込んだりしてないことを確かめてから、締め付け金具でしっかり固定します。



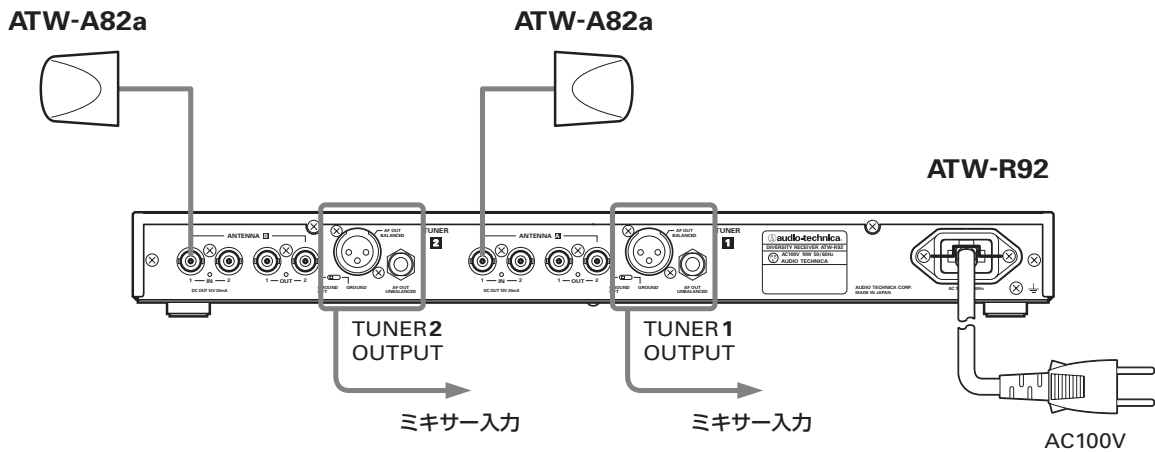
※BNCコネクタにより加工方法が異なります。

接続方法1 (基本接続 : AEW-R5200)

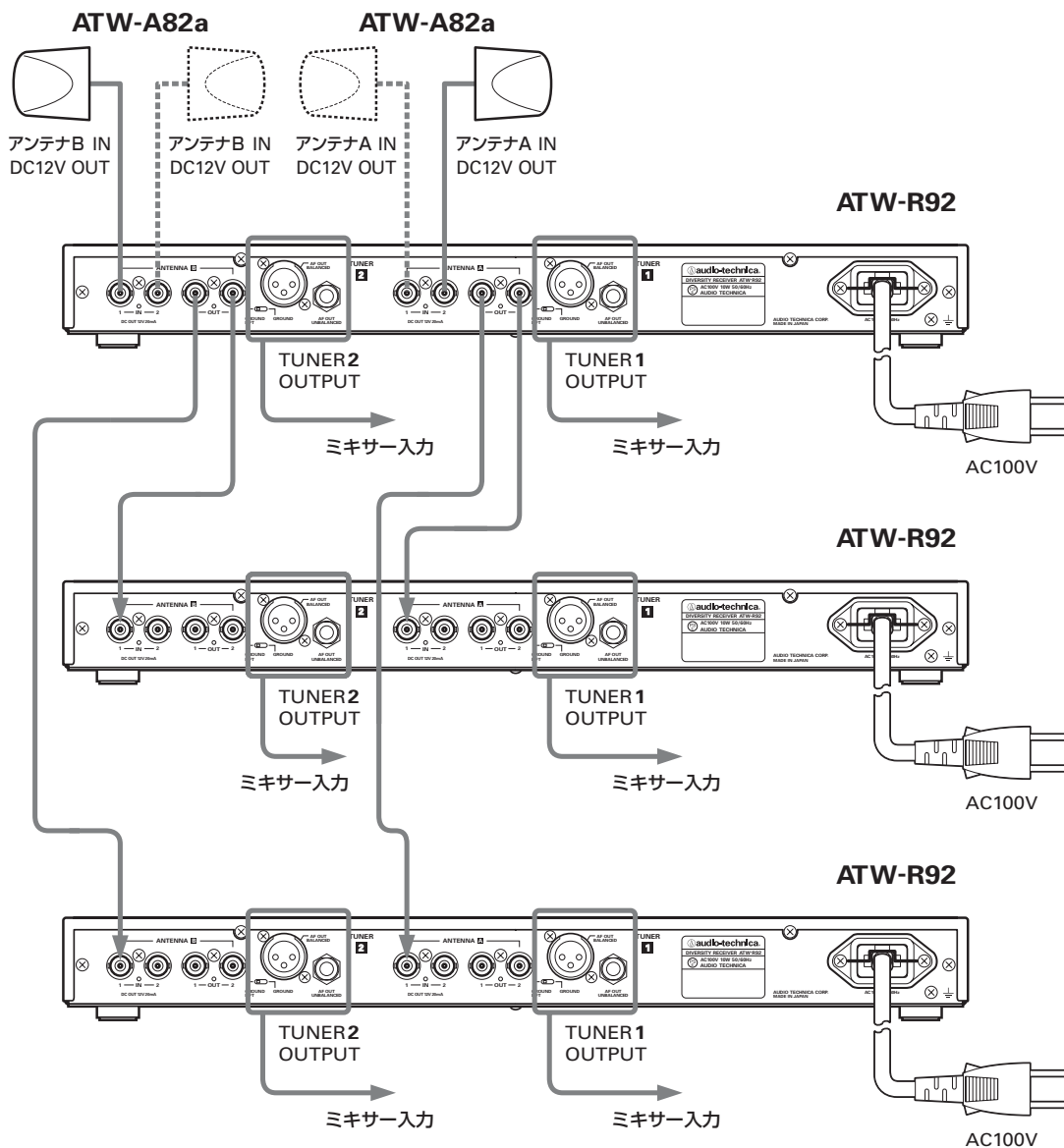


ATW-A82aを使用する場合は、AEW-R5200のチューナー1でアンテナ電源をONに設定してください。詳しくは、AEW-R5200の取扱説明書を参照してください。

接続方法 2 (基本接続 : ATW-R92)



接続方法 3 (カスケード接続)



テクニカルデータ

型 式	: $\lambda/2$ ダイポールアンテナ (ブースター内蔵)
利 得	: 10dB (Hi)、4dB (Lo) (スイッチによる切り換え)
出カインピーダンス	: 50 Ω
定格電源	: DC 12V 20mA (同軸ケーブルにより受信機またはアンテナ・ディストリビューターから供給)
受信周波数	: 797~810MHz
外形寸法	: 幅65×高143×奥行150mm
重 量	: 320g
付属品	: 木ネジ×4 M3.5ネジ×4

(改良などのため予告なく変更することがあります。)